



令和8年度 No.2

駒岡小学校だより

5月号

「自分も大切 友達も大切 地域も大切」

校長 次田 るみ子

新1年生が仲間入りして2か月目を迎えます。登校班や給食当番、全校朝会等、初めてのことをいろいろ経験して過ごしています。今年度の給食の始まりは、4月13日の月曜日からでした。たしか昔の給食指導では、1年生の給食の初日はパンと牛乳でした。パンからスタートして、次の日はもう1品と増えていったような記憶があります。それが、今では初日から、ほかほかのふっくらご飯と、牛乳、ハンバーグ照り焼きソース、豚汁の献立でした。登校してくる児童も初日の給食を楽しみにしている様子が見受けられました。

今年度、駒岡小学校では、「地域で守られていることを意識して行動してほしい」という願いを込めて、「自分も大切 友達も大切 地域も大切」を合言葉に、教育活動を進めていきます。子どもたちが自分の気持ちや考えを大切にし、困ったときには周りの人に「助けて」と伝えられる力を育てるとともに、友達一人ひとりの違いを認め合い、思いやりをもって接することができる学級づくりを大切にしていきます。

また、あいさつや感謝の気持ちを通して地域とのつながりを深め、先生や地域の方々の思いにも気づきながら生活できるよう支えていきます。保護者の皆様と気になることを共有しながら、「いじめをしない・させない・見逃さない」という思いを全職員で共有し、子どもたちが安心して過ごすことができる学校を目指していきます。



さらに、児童が「きまりを守ることの大切さ」を自分ごととして考え、前向きに行動できるよう指導していきます。「めんどくさい」「これくらいなら大丈夫」「他の人もやっているから」といった気持ちが生まれることもありますが、きまりは自分や友達の安全と安心を守るためにあることを、日々の生活を通して伝えていきます。通学路を守ること、廊下を静かに歩くこと、順番を守ること、時間を意識して行動することなど、一つ一つは小さなことですが、みんなが守ることで学校生活はより気持ちよいものになります。「自分が守ることで、みんなが安心できる」という考えを大切にし、できたことを認め合いながら、前向きに行動できる子どもたちを育てていきます。